

## 浄水場等の耐震対策について

### 1 耐震対策の概要

浄水場および導水ポンプ場を対象に、耐震診断を実施した結果、下表のような被害の発生が想定されることから、計画的に施設の耐震化に取り組んでいる。

#### 【耐震診断結果】

浄水場等名称	耐震診断結果(※レベル2地震)	応急復旧必要期間
吉川浄水場	液状化して構造物浮上等の甚大な被害。	約4か月
馬渕浄水場	液状化発生無し。構造物に局所的な被害。	約1か月
南津田導水ポンプ場	場内配管やポンプ棟の軽微な被害。	約10日間
水口浄水場	液状化発生無し。構造物に局所的な被害。	約1か月
朝国導水ポンプ場	沈砂池の軽微な被害。	約10日間

※レベル2地震：琵琶湖西岸断層帯地震、南海トラフ巨大地震に相当する地震

○吉川浄水場 浄水処理施設新設 約96億円(当初計画)

施設規模：給水量 30,000m<sup>3</sup>/日 浄水処理方式：凝集沈殿+急速ろ過方式

液状化対策：地盤改良(基礎地盤をセメント改良し強固な基礎体を造成)

○馬渕浄水場・南津田導水ポンプ場 耐震補強 約11億円(当初計画)

○水口浄水場・朝国導水ポンプ場 耐震補強 約3億円(当初計画)

### 2 耐震対策工事の実施状況と今後のスケジュール

#### (1) 吉川浄水場

- 令和元年度から順次、土木本体工事、機械・電気設備工事、建築工事、監視設備工事、場内整備工事等に着手。
- 液状化対策として施工した地盤改良工において、現地の土質や地下水の状況などにより工法変更が必要となり、不測の日時を要したが、鋭意、進捗に努め、令和4年度末で、主要土木構造物、機械・電気設備について、設置工事を概ね了する見込み。
- 一方、電気部品について納期の遅れが生じている状況であり、当初計画は総合試運転の完了時期を令和4年度末としていたが、令和5年度末までかかる見込み。
- また、工事費については現在、精査を進めているところであるが、近年の資材単価の高騰の影響等で最終的に当初計画から5%程度増高すると見込んでいる。

#### 【吉川浄水場の試運転等スケジュール】

工種	令和5年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
各設備単体試運転	■	■	■									
全体総合試運転				■	■	■	■	■	■	■	■	■
場内整備工事	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

#### (2) 馬渕浄水場・南津田導水ポンプ場、水口浄水場・朝国導水ポンプ場

- 吉川浄水場の耐震対策工事と並行して、順次、詳細設計を実施。
- 土木構造物(建屋を除く)については、馬渕浄水場・南津田導水ポンプ場では沈殿池など3施設、水口浄水場・朝国導水ポンプ場では2施設の補強工事を令和5年度から順次実施していく。

